

南大和団地自治会

会長 鈴木清雄



3DKで5階建の階段型住宅で、昭和45年（1970年）に完成しました。今年44年目を迎える集合住宅です。

当南大和住宅は、昭和41年（1966年）に建設省及び日本住宅公団が設計をして、安藤建設が施工した390世帯の分譲住宅です。

理組合が存在します。自治会はこの管理組合と一体になり活動しています。わかり易く言えば、集合住宅の土地・建物・設備等共有部分や財産を維持

管理する事が管理組合で、それ以外の住民同士のコミュニケーション等を図るのが自治会と言えます。この為、当住宅は管理組合の理事長と自治会の会長は兼任しています。

この他、階段ごとに選出されるメンバーで、自治会の班に相当する「リビングリーダー（Lし会）」、「駐車場や車を管理する

「カークラブ」、災害時に備えて防災設備・備品の管理や防災訓練を毎年行っている「自主防災会」、高齢者の親睦会である「ちとせ会（高齢者の会）」、小学校の子供たちを見守る「育成会」が活動しています。

リビングリーダーは2か月に一度会合を開き、

各棟や階段ごとの問題や要望等を話し合い自治会や管理組合に提言・提案を行い、住民にも連絡して当住宅内のコミュニケーション等を図っています。自主防災会は東地区と西地区の2つあり、住宅内にそれぞれ4〜5個の防災倉庫を建て、防災時に備え毎年秋ごろ防災訓練を行っています。

その他、自治会連合会主催の防犯パトロールに参加、当住宅内での防犯パトロールを夏休みと冬休みに、また防火管理者が随時パトロールを行っています。また和光市主催のゴミゼロ運動にも毎年参加しています。

3年前の東日本大震災をきっかけに、2年ほど

前に『命を守る災害時カード』を作成しました。これは当住宅内に住む方の「居住者台帳」とも言えるもので、世帯主だけではなく家族の名前から勤務先の連絡や緊急時の連絡先、疾病のある方には病名や医療機関の名前・連絡先を記入して頂きました。これと連動して、『救急医療情報キット』も作成しました。この

『キット』はいつも飲んでいる薬や医療機関等の名称・連絡先等の情報を筒の中に入れ冷蔵庫に保管して置き、緊急時や災害時に活用する物です。若い世帯から高齢者の世帯まで、住み易い豊かで活力ある住宅でありたいと思っています。